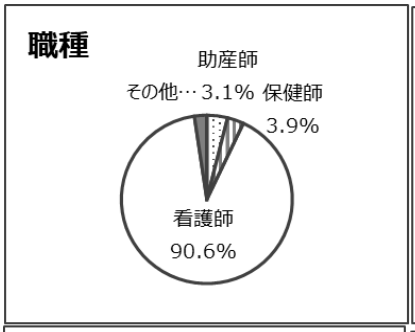
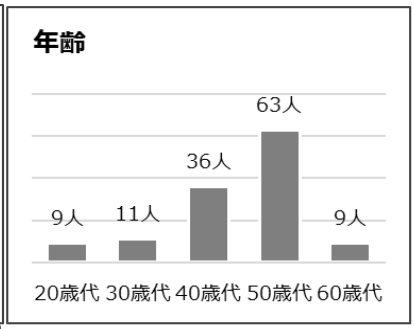
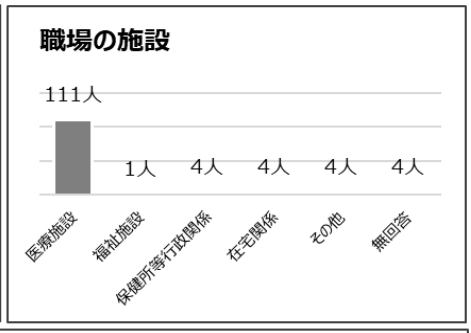
R4年度　離島就業看護職員研修

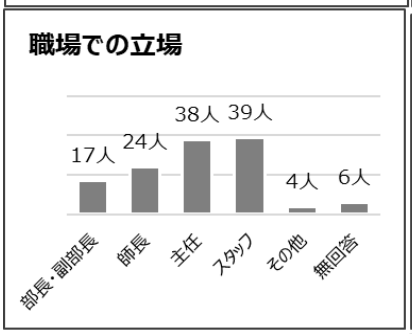
目的：離島看護職員の抱えるニーズ等について、研修会を開催し、看護職員のキャリアアップ、看護の質向上を図る。研修参加機会を増やし看護職員のキャリアアップ、看護の質向上を図る。

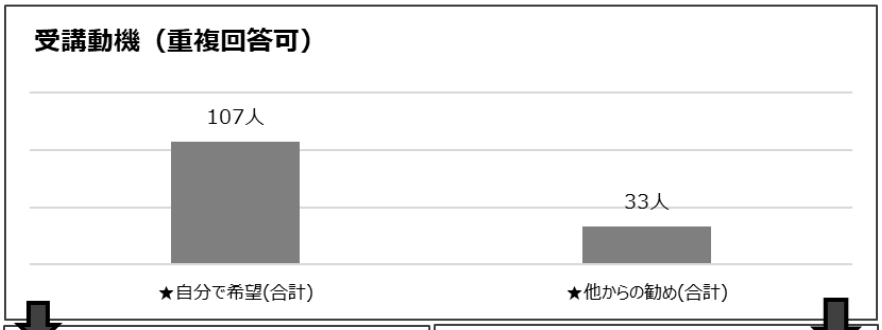
開催日	研修内容	受講者数	会場
10/15	エンゼルケア	17	オンライン・壱岐
10/23	慢性腎臓病（CKD）	23	オンライン・上五島
10/29	ACP	50	オンライン・五島
11/19	看取り	42	オンライン

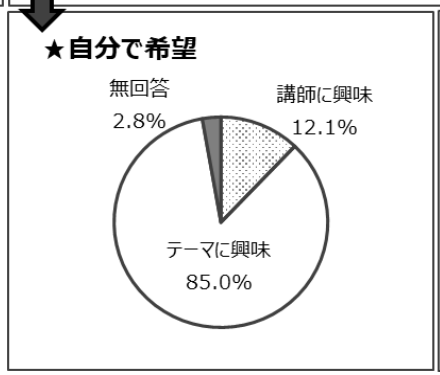


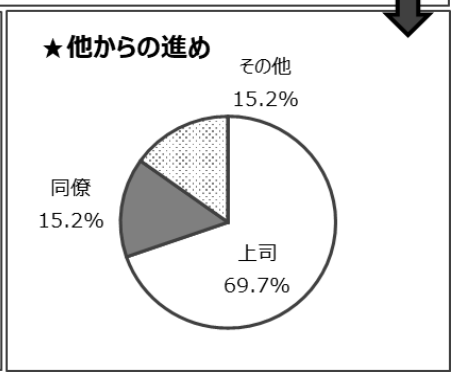






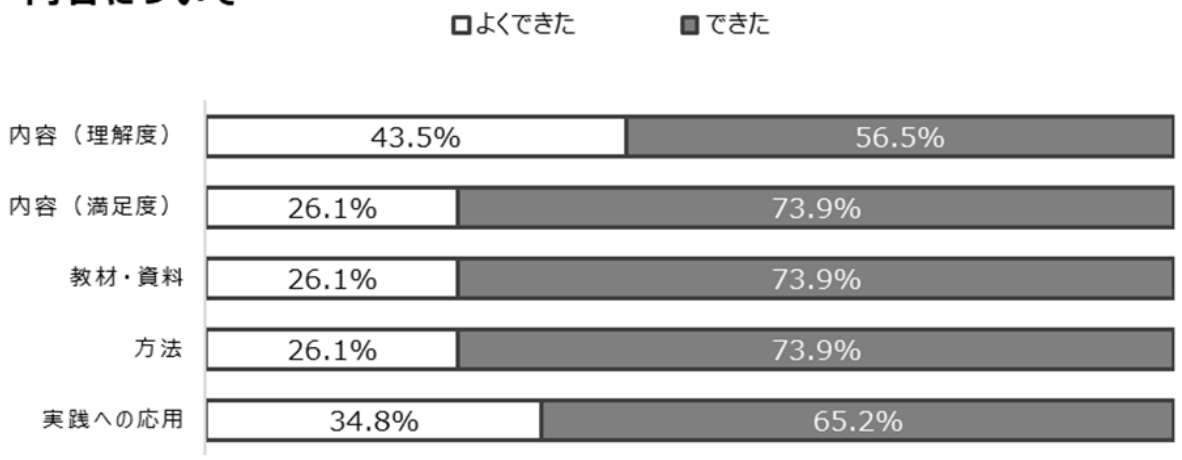




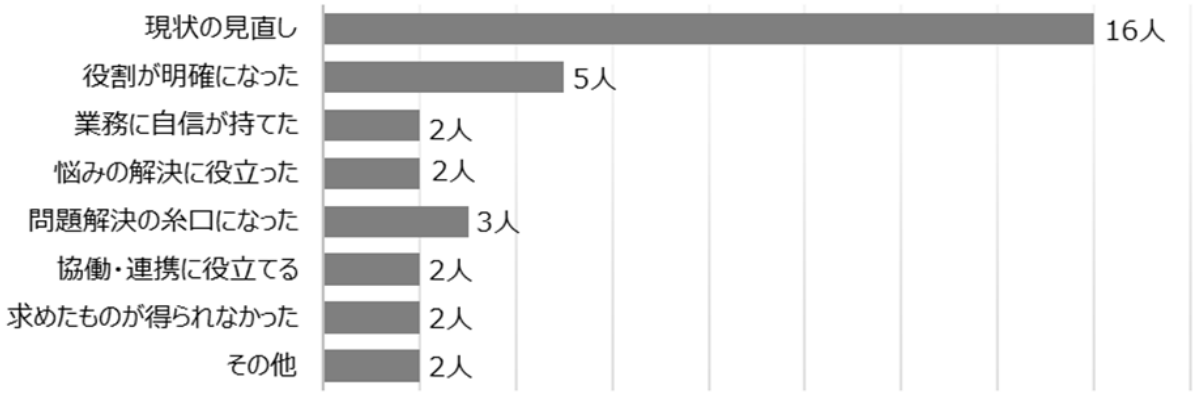


上五島地区　　慢性腎臓病について

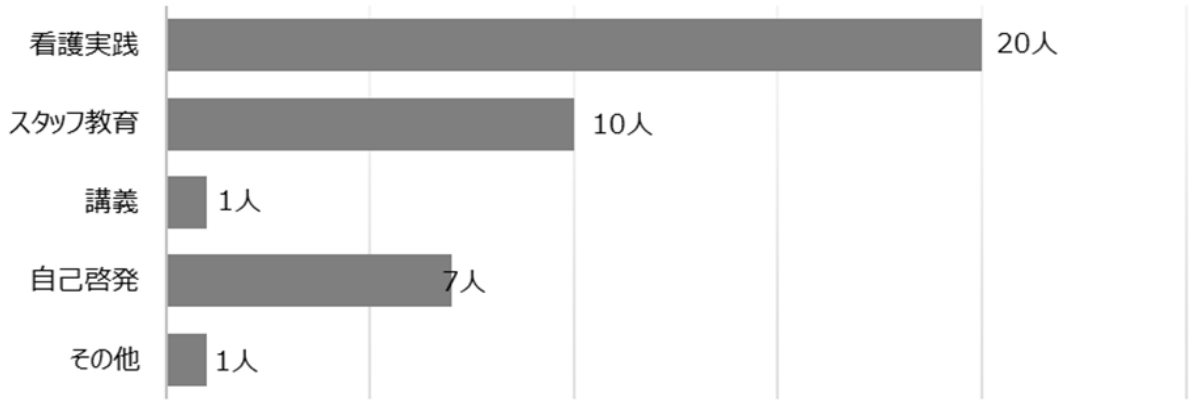
内容について



研修全体を通しての学び（重複回答可）

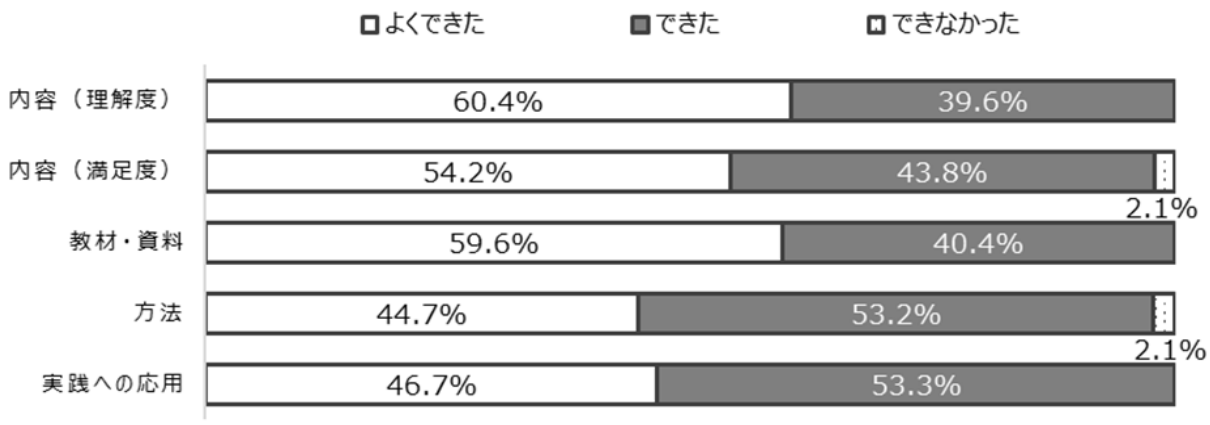


今後の活用（重複回答可）

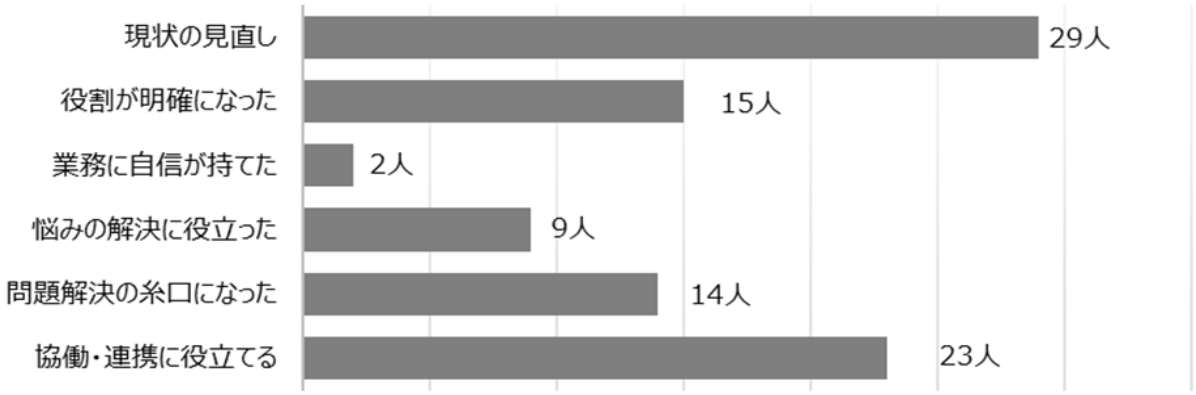


下五島地区　　終末期における症状コントロール

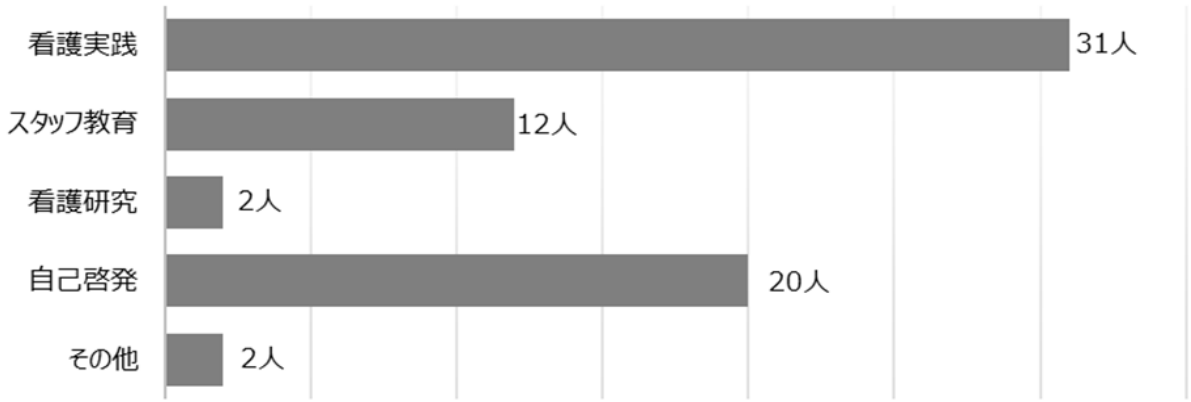
内容について



研修全体を通しての学び（重複回答可）

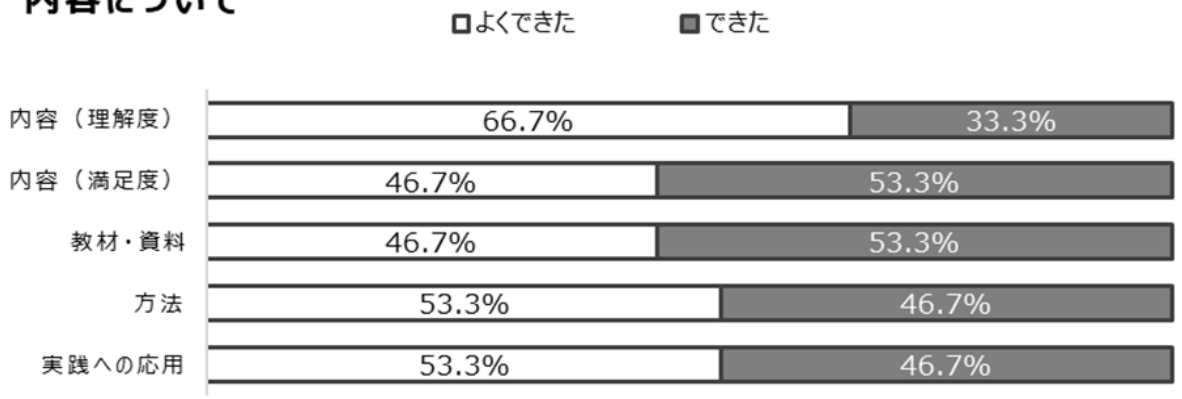


今後の活用（重複回答可）

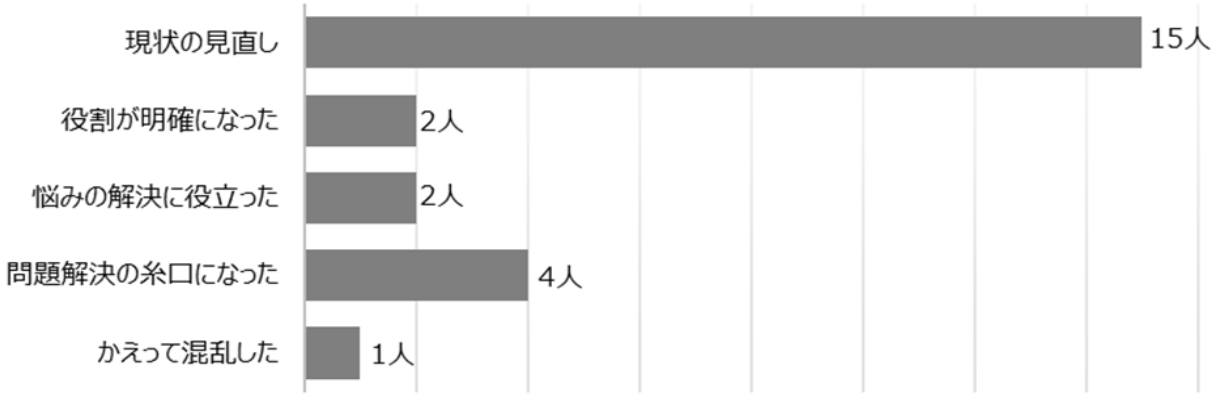


壱岐地区　　亡くなられた方のその人らしくを保てるエンゼルケアの実際

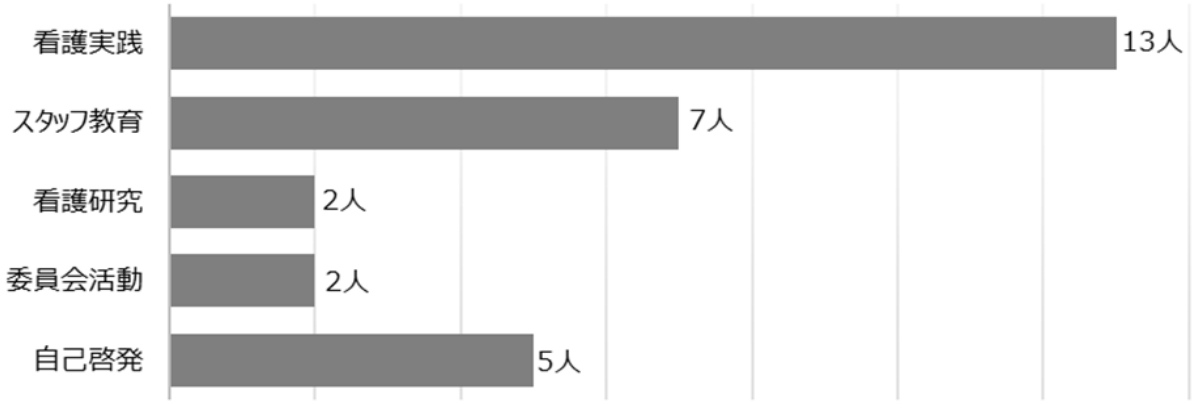
内容について



研修全体を通しての学び（重複回答可）

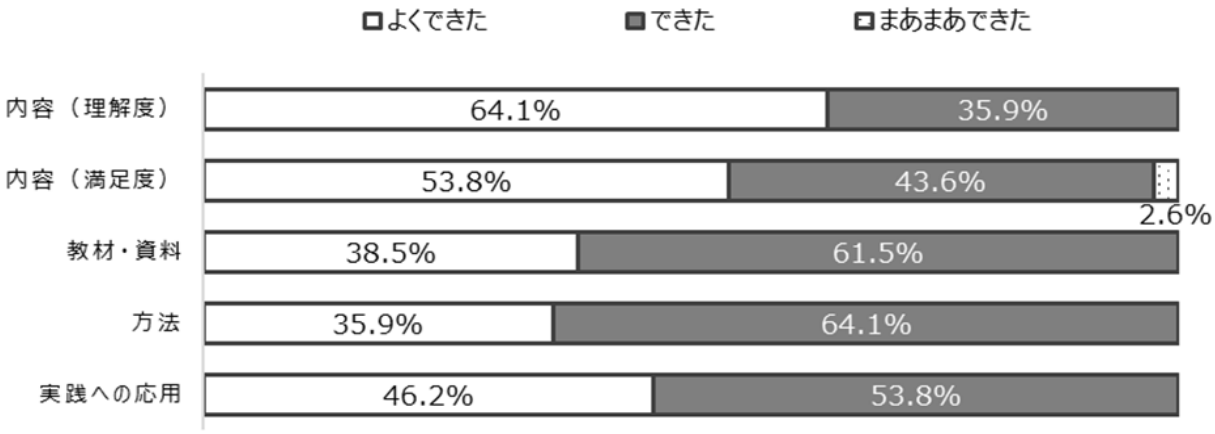


今後の活用（重複回答可）

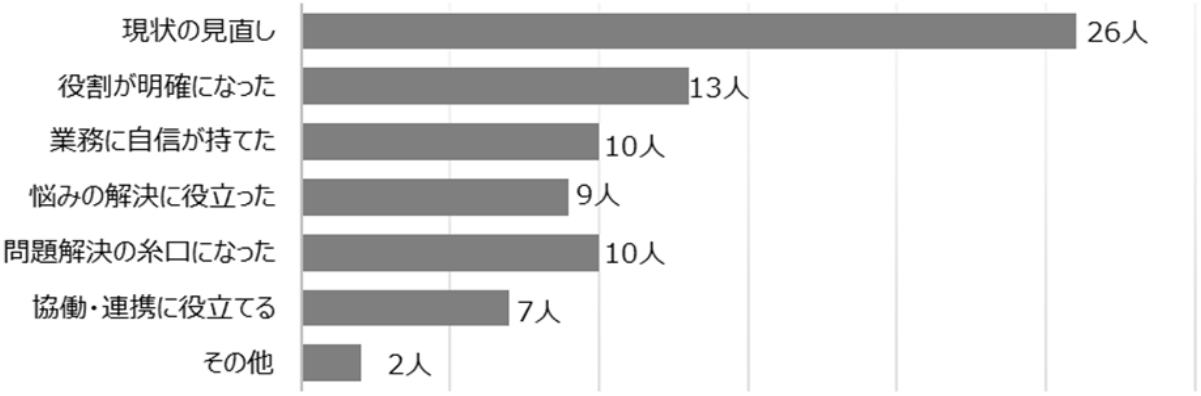


対馬地区　　離島におけるACPの実態と課題

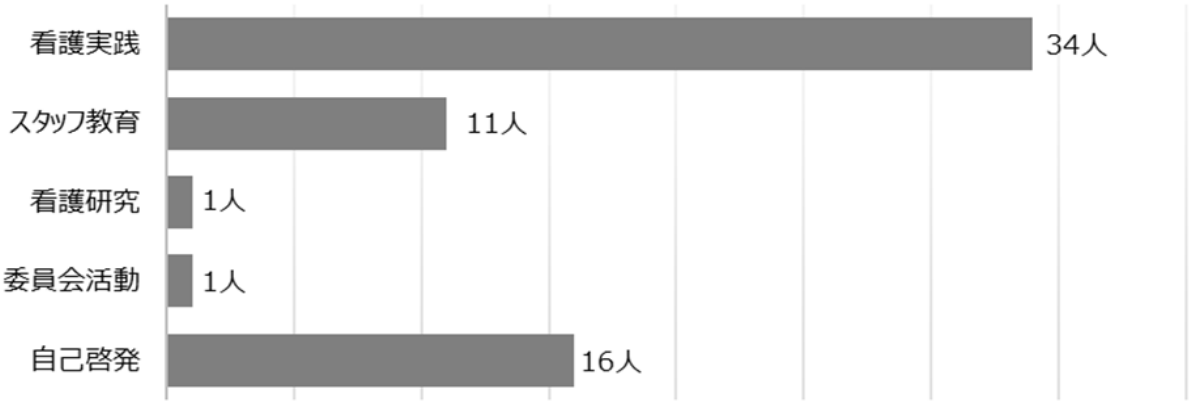
内容について



研修全体を通しての学び（重複回答可）



今後の活用（重複回答可）



受講者数	132人
回答者数	128人
回答率	97.0%

※割合の合計は四捨五入の関係で100%とならない場合もあります。

	病院	クリニック	福祉施設	学校	その他	計
上五島地区	14	7	2			23
五島地区	46	1			3	50
壱岐地区	13		3		1	17
対馬地区	35	3	3		1	42
計	108	11	8		5	132

今後この研修をどのように活用するか　　一部抜粋

・患者の生活についての指導に役立てていきたい
・腎疾患の理解を深められたと思う
・離島看護師の強み、地域の強みを再確認できた研修だった。対話、共有、協働でACP実践を行っていきたい。
・地域連携室でよくICやCFの場に立ち会うが、事前に本人、ご家族とACPについての思いを確認できるようにスキルアップに努めていきたい。
　とても為になる研修だった。
・退院支援へ関わる際の姿勢、「気持ちは揺らぐ」ということをよく実感するので参考になる
・患者様の意思をキャッチできることから始めていこうと思った
・今後、ACPに関する研修会を多職種対象に実施予定
・ターミナルや終末期の方にどうしたいのかを聞きたいときの言葉の選び方が分かったので、スタッフに伝えたい
・実際に意思決定を確認する場面でどのように声をかけていいのかわからず、毎回これでよかったのだろうかと思っていたため、学んだことを実践していきたい
・明日からの処置に活かしていきたい
・知らないこと、新しい方法などが分かったのでとても勉強になった。自宅に帰られてからの変化など知れて良かった。
・遺族ケアが不足していると感じた。救急の場での家族ケア（声のかけ方）が大変参考になった。

研修評価

離島の特徴を捉え研修を企画することで、離島間で配信する件数が昨年より増えている。 大きな病院だけでなく、参加する施設が増えており、施設間の交流が図られている。